

(1) 単元名： すみれとあり (説明文)

(2) 本時の目標： たねが とびだすようすを じゅんじょよく せつめいしよう。

辺土名小学校2年目の定臨の教師である。

2日前に教室をちょっとのぞかせてもらった。説明文の音読をきかせてもらったら、まだ第2時だというのに、教科書も見ずに音読している子を数人確認できた。

無理せず心地よい音読の声。2年生である、「読む」「読ませる」にも、まだまだ個人差(文字と音声不一致の子)があり、なかなかそろわないものであるが、みんなはりきって読んでいる。

本日は第4時の授業を参観させてもらった。予想通り、期待通りの授業であった。



【学習規律・教室のルールの徹底】 授業経営、学級経営の基礎・基本である。

若い、定臨の教諭である。去年も低学年の2年生の学級担任で、今年も2年生を受け持つこととなった。同じ学年を続けて持つことができるということは、教材研究が深められるという大きなメリットがある。授業者は定臨ではあるがそのメリットを最大限にいかして授業づくりに臨んでる。



上の写真、「読むときは読む」「書くときは書く」「聴くときは聴く」。書いている時は子ども達の鉛筆を持つ手がそろう。お話を聴いている時は視線がそろう。読んでいる時は声がそろう。学習の規律や教室のルールがしっかり子ども達に行き届いている証拠である。

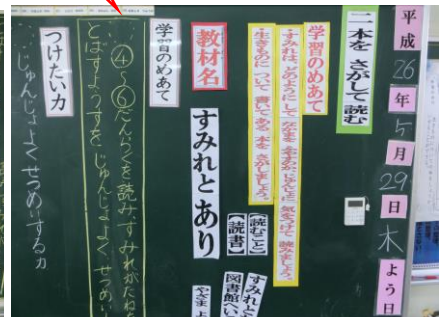
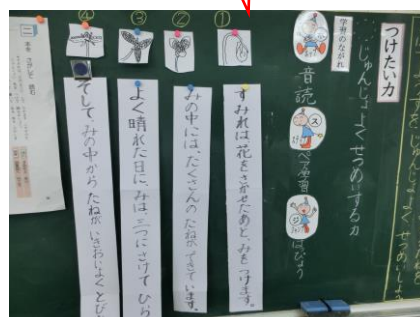
【日常でやる・日常をやる】 どうですかこの授業者の準備。 授業への誠意を感じますね！

見せるための授業ではなく、教師のための授業でもなく、子ども達を主体とした日常の授業実践でありたい。

過去の校内研修の授業研究会。数年に1度の順番が回ってきた時だけやるのでは子ども達への研究効果や教師の研究の深まりはあまり期待できない。
[日常でやる！日常をやる]



授業終末時の黒板の様子である。めあて、学習の流れ、資料、学習の出口、さらに写真にはないが、本単元の学習進行表が子ども達のノートと黒板の横に掲示されていた。授業が大切にされている。教師が授業で勝負している姿である。



【今日のお勉強の進め方を確認する】

まず、授業開始時に全文の音読。本日も、教科書を見ないで音読する子が約半数である。写真①、本時の学習の流れを確認する。写真②、本時の形式段落④⑤⑥の読みである。指でなぞりながらじっくり読む。この後、授業者は、テキストを机の中に片付けさせた…なんで?ちゃんとその意図があったのである。つぼみから種がとびだすまでの4枚の写真を準備し、じゅんじょよく説明することが本時のねらいである。子ども達はこの4枚の写真をもとに、じゅんじょよく仲間に説明する。いったん子ども達の視点をテキストから切り離して、「ぼくなりに」「わたしなりに」対話で仲間に向かって説明させるのが授業者の意図である。



写真①



写真②

じゅんじょよく仲間説明。対話で仲間に向かって説明させるのが授業者の意図である。

【協同的活動(対話)】資料の準備が学びを促進させる。

授業者は、あえてペアに1組の写真を配布しペアを向き合わせる。小さな配慮だが、「対話と学び」は加速する。みんな自分の言葉でペアに「分かるよう」に写真を説明する。じつにいい。くっつき具合が最高である。



ペアに、4枚1組の写真を配布

聞き合うことに不自然さが全く感じられない。当然、中には弱い子だっている。しかし、気づけないほどである。楽しみながら支え合い学び合っている。



低学年のペア学習の有効性を目の前にしている。「安心」できる。

【共有する】



写真③



写真④

写真③、ペア各々で話したことを確認する。写真とテキストの説明をつなぎ合わせて確認する。

右写真、「あってるかな?」「だいじょうぶかな?」ドキドキ、ワクワクである。教師の話と黒板の資料に夢中になる子ども達。子ども達の声

「あたって〜」「ほらね」「やった〜」「やっぱり」「よっしゃ〜」

天使の声、最高の笑顔を見せる。

写真④、テキストで確認する。この後子ども達も教科書を開き、テキストの説明されている部分に線を引く。



【ケアする】教師が語らせる。さらに「お友達に話してごらん」授業者はあくまでペアとの対話につなげている。(2度確認される)



【教科書に線を引く】



【授業終末】写真を順序よくノートにはる。

初めに、ペアに1組わたしていた4枚の写真を全員にいきわたるように配布した。授業者:「じゅんじょよく ノートにはってごらん。」(シールに印刷した写真) この作業で、今日の学習のまとめやふり返りになったのではないだろうか。授業者の準備に頭が下がる。(糊ではなくシールである)

T・K先生ありがとうございました。学級経営、授業経営が見事です。子ども達も安心して先生のお話を聞いていますね。先生と子ども達の関係の良さの表れだと思います。採用試験頑張ってください。